

平成26年度

第1回 阿賀野市入札監視委員会

平成26年9月26日（金）

阿賀野市総務部財政課

平成26年度 第1回阿賀野市入札監視委員会 会議録

- 1 日 時 平成26年9月26日(金) 午後2時～午後3時30分
- 2 場 所 阿賀野市役所 302会議室
- 3 委 員
入札監視委員(出席) 阿部和久、小熊正彦、磯部 亘、佐藤孝二郎、本間康子
- 4 傍聴者 2名(報道機関)
- 5 議 事
開 会
委員長あいさつ

議題

- (1) 期間内の発注状況等報告
- (2) 抽出案件の審議
- (3) その他

【抽出案件】

制限付一般競争入札 (A) 【2件】

No.	工事名	工事種別	請負業者	当初契約金額 (単位:円)	落札率	発注課	入札参加者数
A-1	阿賀野市新病院建築工事	建築	福田・加賀田・坂詰 特定共同企業体	3,562,920,000	99.87%	地域医療 推進課	1
A-3	阿賀野市新病院機械設備工事	管	菱機・新菖・安田設 備特定共同企業体	2,116,800,000	99.75%	地域医療 推進課	2

通常指名競争入札 (C) 【1件】

No.	工事名	工事種別	請負業者	当初契約金額 (単位:円)	落札率	発注課	入札参加者数
C-1	水原中学校駐輪場建築・中庭整備工事	建築	(株)ライズビルド	57,540,000	98.08%	学校教育課	9

随意契約 (D) 【2件】

No.	工事名	工事種別	請負業者	当初契約金額 (単位:円)	落札率	発注課	見積業者数
D-1	阿賀野市新病院建設工事監理業務委託	コンサル タント	(株)山下設計	56,160,000	99.43%	地域医療 推進課	1
D-10	水原中学校窓枠膳板等設置工事	建築	(株)福田組東蒲営業所	2,527,200	99.57%	学校教育課	1

14:00

開会あいさつ（財政課長）

委員長あいさつ

議題1 期間内の発注状況等報告

事務局

期間内の発注状況等を報告

～質問・意見～

委員

指名競争入札の学校町緑町線歩道安全施設設置工事は、落札率が100%であるが、偶然の一致と理解すればよいか。

事務局

当該入札は、1回目の入札で予定価格を下回らなく、再入札では高止まりが想定できた。結果的に100%となったもの。

議題2 抽出案件の審議

委員長

今回審議事案を抽出された委員より抽出理由についてご説明を求める。

抽出委員

A-1.3は、契約金額が突出していることと一般競争入札の参加要件で多くの参加が見込めないことは理解するが、少数入札で落札率が高いことが気になり抽出した。

C-1は、指名競争入札で契約金額が高いことと落札率も高いことで抽出した。

D-1は、随意契約中、契約金額が突出しているうえに1者見積りで落札率も高いことで抽出した。

D-10も、1者の随意契約で落札率が高いことから抽出した。

抽出1 阿賀野市新病院建築工事

事務局

A-1 阿賀野市新病院建築工事の契約までの経過を説明

抽出理由について説明

高落札率については、公共工事に関して、東日本大震災復興需要や国の景気対策（アベノミクス、国土強靱化政策）などにより、資機材の高騰や労働力不足が生じ、特に公共建築工事は全国で不調不落が発生している状況であり、高落札も予期されている。結果的に、社会現象がこの入札にも表れたものと認識している。

また、予定価格と実勢価格の乖離という問題も一つの要因ではないかと思う。

具体的には、設計積算した時点と入札までの間にも価格の高騰が進むことで、応札額に影響が生じているものと考えられる。

入札参加者数については、一般競争入札は入札公告した時点から競争性が担保されているので、1者（JV）でも有効としている。

～質問・意見～

委員

総合評価方式は以前から活用されているか。

事務局

以前から採用しているが、近年は行っていなかった。

また、総合評価方式については、活用されるよう要請があるので、次年度以降は件数を増やす予定である。

委員

地元企業活用型は総合評価方式の枠組みの中にあるのか。

事務局

簡易・高度の技術提案型や施工実績型などの一つとして、特別に名前を付けたもの。

なお、総合評価の採用にあたっては、全国の公立病院の入札実例を参考としており、この方式もそれを基に阿賀野市バージョンとしたもの。

委員

地元企業活用型の特色は、地元貢献度の金額提示と理解してよいか。

事務局

そのとおり。

委員

入札参加資格要件で総合評定値 P 点とあるが、名簿登録の際に市から業者に通知されるものなのか。

事務局

建設業法で定められている経営事項審査の総合評定値である。審査は新潟県が行っている。

委員

新潟県内で P 点が 1200 点以上はどのくらいあったのか。

事務局

P 点は技術力や受注金額などを総合的に評価したもので大手ゼネコンは殆どである。県内（本社・支店）で本市の名簿登録では当時 39 社あった。

委員

P 点を要件にしている入札はよくあるのか。

事務局

阿賀野市では初めてと記憶している。しかし、全国的に箱物の場合は、会社規模のライン引きとして P 点を採用している場合は多い。

委員

再入札となって落札されたが、時間的な間隔は。

事務局

1 回目終了直後に行った。

委員

1 JV の参加にとどまったことをどう認識しているか。

事務局

発注段階で JV 可能数も協議している。今回は、代表以外の構成員で市内の業者を必要としているので、最大で 6 JV の可能性はあった。結果的に県内大手が 2 つ組んだことが影響したのではないかと感じている。

委員

再入札の回数について定めているか。

事務局

入札公告で入札回数は 2 回を限度とする旨を定めている。

委員

入札が不調不落であった場合の対応方法は。

事務局

設計を見直すか JV の構成要件を見直す方法がある。

抽出 2 阿賀野市新病院機械設備工事

事務局

A-3 阿賀野市新病院機械設備工事の契約までの経過を説明

抽出理由について説明

少数入札で落札率が高いことについては、抽出 1 と同じ見解である。

～質問・意見～

委員

参加資格要件の施工実績で、15 年以内とした根拠と共同施工した場合の実績の取扱いはどうか。

事務局

15 年以内については、基準となるものはなく自治体の裁量である。今回は他自治体を参考にし、入札参加機会の拡大の観点から長い期間を設定した。

共同施工した場合の実績は、その代表者であることを公告で定めている。

委員

入札結果を見ると、予定価格と実勢価格の乖離がうかがえる。入札までのタイム

ラグが原因と思うがいかがか。

事務局

言われるとおり。今回、工事発注の起案が12月であり11月には設計が完了していることになる。入札実施日が2月下旬であり3箇月のタイムラグがある。

なお、予定価格と実勢価格の乖離は社会的な問題である。

抽出3 水原中学校駐輪場建築・中庭整備工事

事務局

C-1 水原中学校駐輪場建築・中庭整備工事の契約までの経過を説明

抽出理由について説明

指名競争入札で契約金額が高いことについては、2月発注で新校舎開校を4月に控えていたことから、工期確保の観点で指名競争入札とした。

落札率が高いことについては、資機材高騰の影響と推察する。また、この工事は、11月に一度入札不落となった工事について、工事内容を組み替えた再度の入札であり、不落の影響も多少はあったのではないかと考える。

～質問・意見～

委員

9者入札で予定価格を超過した者が6者であり、この案件も建築特有の高騰の影響があったものと理解する。

抽出4 阿賀野市新病院建設工事監理業務委託

事務局

D-1 阿賀野市新病院建設工事監理業務委託の契約までの経過を説明

抽出理由について説明

随意契約中、契約金額が突出しているうえに1者見積りであることについては、新病院建設の基本設計及び実施設計を受託した業者であり、設計意図の反映や施工監理が迅速かつ的確に実施できること並びに安価で契約できることが見込められることから、入札に適さないと判断し設計業者の1者とした。

説明補助員

落札率については、分母となる予定価格の適正性に関係するが、監理業務に関する国の積算基準はある。その中で設計意図の伝達等の項目がありそれを省くことができる。そこで、経費執行するに当たり、事前に当該業者から参考見積りを徴集し、精査した結果を予定価格とした。契約するに当たり正規の見積りを徴集した結果が99.43%となった。

委員

複数社からの見積りは徴集しないのか。

事務局

今回は説明のとおり、明らかに当該業者が優位であるので、他社からは徴集しなかった。

委員

予定価格の適正を確認するうえで、他社から見積りをいただくことがよいと思う。

委員

基本設計、実施設計を受託した業者が監理業務を行うことは自然であり、よい仕事ができることは分かるが、このルールは慣例なのか。

また、基本設計を受託すれば自然淘汰で監理業務まで受託できるルールがあるとなれば、最初の基本設計で頑張ればその後は安泰ではいかがでしょうか。

事務局

慣例ではない。一業者が全て担えばメリットは大きいことは明らかであるが、監理業務を入札する案件もある。また、全ての業務を一契約で済ませればよいのだろうが、補助金対象や予算措置上の課題があり難しいのが現状である。

抽出5 水原中学校窓枠膳板等設置工事

事務局

D-10 水原中学校窓枠膳板等設置工事の契約までの経過を説明

抽出理由について説明

1 者の随意契約で落札率が高いことについては、予定価格の算出方法などの適正性となるので説明補助員が説明する。

説明補助員

工事概要の詳細説明

予定価格の設定については、設計コンサルタント及び施工業者とで、安価で早急に安全対策が図られる方法を協議した。工事内容は、規格外であり積算基準がないことから参考見積書を徴集し、精査したうえで予定価格を設定した。契約に当たり同じ業者から正規の見積りを徴集したもので、高率は想定内である。

～質問・意見～

なし

委員長

以上で抽出案件の審議を終了します。

議題3 次回抽出委員の選出

事務局

次回の抽出委員については、事前に定めたとおり佐藤委員から願います。

その他

入札件数と落札率の推移（グラフ）を説明

委員長

その他、全般的に質問はないか。

委員

再入札の頻度はどの程度か。

事務局

ほぼ1回目の入札で落札されている。

委員

下水道工事の同日入札で落札者が全て違うことについて違和感がある。発注者としてどう考えているか。

事務局

下水道工事は工期短縮と受注機会の確保の観点から、路線を分割して発注している。工期内に適正な理由なく完了しないときは、違約金が発生することと、分割発注の意図を理解している表れと推測する。

委員

連続する工事は、分割して発注する自治体がほとんどで、工期や品質確保などの面で1者が連続して受注するケースは他自治体にも散見されない。

委員長

以上で、予定していた議事はすべて終了しました。

これで平成26年度第1回の阿賀野市入札監視委員会を終わります。

ありがとうございました。

閉会 15 : 30